

入札監理小委員会における審議の結果報告

大学入試センター試験の出願受付業務・成績通知業務

独立行政法人大学入試センター（以下「センター」という。）の大学入試センター試験の出願受付業務・成績通知業務については、平成21年10月から2年7ヶ月間の契約期間として民間競争入札による事業を実施しているところ。契約期間終了後の事業についても、公共サービス改革基本方針（別表）において、民間競争入札を実施することとされている（2期目）。

これに基づきセンターから提出された実施要項（案）を入札監理小委員会において審議したので、その結果（主な論点と対応）を以下のとおり報告する。

1 事業の評価等を踏まえた変更について（実施要項案 12 頁）

【論点】

現行の契約期間は、平成 21 年 10 月から 24 年 4 月までとされているが、次期事業実施の際には、対象業務の一連の作業工程がほぼ 1 年間で循環するものとなっていることを踏まえ、より適切な始期と終期を設定する必要がある。

< 対応 >

契約期間を平成 24 年 5 月から平成 27 年 4 月までの 3 年間とし、対象業務の作業工程と、始期、終期を合わせる形とした。

2 パブリックコメントに出された意見への対応について（別添 1）

実施要項（案）の意見募集により、5 件の意見が寄せられており、主な意見と対応は以下のとおり。

【主な意見】

データの授受は、MOではなく、VPNの利用を認めてほしい。

< 対応 >

VPNについては限定的な利用を認めている。ただし、セキュリティ上、多数の回線を開通することは考えていないので、それぞれの業務においてVPN利用の可否をセンターと協議することとし、その旨を仕様書に明記した。

以上